

平成21年度図書館情報メディア研究科プロジェクト研究 研究成果報告書

種 目	プロジェクト研究	外部資金獲得	研究代表者 氏 名	逸村 裕
研究課題	場としての大学図書館における学生の情報探索行動調査			
研究組織（研究代表者及び研究分担者）				
氏 名	所属研究機関・部 局・職	現在の専門	役割分担	
逸村裕	図書館情報メデ ィア研究科	図書館情報学	研究主幹 実験計画作成	
寺井仁	東京電機大学	認知科学	実験補佐	
研究目的				
<p>高等教育を巡る情報環境において、学生の情報探索行動の把握は重要な案件である。学生は学習において、どのような情報行動をとっているのか、そして大学図書館が学習教育支援組織としての機能を十全に果たしているか、は大学において大きな問題である。この十数年の間の、インターネットの普及、電子情報源の増大そしてサーチエンジンの浸透ぶりは学生の情報行動を大きく変えた。一方、携帯電話への依存、読書離れ、安易なコピー&ペーストといった学生の情報行動について語られることは多いが、その実態を実証的に調査した研究は少ない。本研究はこれを筑波大学中央図書館の協力を得て、アイトラッカーとログ分析により明らかにしようとするものである。</p>				
研究成果				
<p>2009年度に知識情報・図書館学類の学生16名を筑波大学中央図書館の協力を得て、実験場として、実験調査を行った。また同じ課題で図書館員4名の調査を実施し、分析した。</p> <p>その結果、学生はサーチエンジンとウィキペディアをベースとし、情報源にあたろうとする行動が見られた。これに対し、熟練した図書館員の行動は大きく異なり、情報源の信頼性をポイントとする行動が見られた。</p> <p>この調査結果は下記に示す通り、雑誌論文一本を発表。筑波大学中央図書館研修会にて中間報告、また5月に日本図書館情報学会春季研究集会にて研究発表の予定である。</p> <p>またこの研究は今年度も筑波大学附属図書館及び附属図書館研究開発室の支援を得て、継続する予定である。</p>				
代表的な研究発表・特許等の成果一覧、特記事項等				
<p>雑誌論文</p> <p>市村光広, 安蒜孝政, 寺井仁, 松村敦, 宇陀則彦, 逸村裕. 視点の軌跡を中心とした情報探索行動の包括的分析. デジタル図書館. 2009, vol. 37, p. 40-45.</p> <p>2009年10月16日 筑波大学中央図書館研修会において、中間報告を実施</p> <p>2010年5月29日 日本図書館情報学会春季研究集会において、演題「図書館における情報探索行動」発表予定。</p>				